

特定建設業者の財務審査表（法人用）[ 会社法施行後財務諸表用 ]

特定建設業者は毎期の決算変更届に必ず添付してください。（新規申請者を含む）

事務所記入欄

（土木）事務所

商 号 \_\_\_\_\_

許可番号 香川県知事（特 - ）第 \_\_\_\_\_ 号

決 算 期 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（決算期末到来の新設企業は創業年月日）

財務要件（要件の区分ごとに判定結果を記入すること）

要件の区分（金額単位：千円、 はマイナス）	判定
欠損 繰越利益剰余金 0 の場合 <span style="float:right">繰越利益剰余金の額</span> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px; margin-left: 100px;"></div>	
繰越利益剰余金 < 0 の場合  欠損判定額 <span style="margin-left: 50px">繰越利益剰余金</span> <span style="margin-left: 50px">資本剰余金</span> <span style="margin-left: 50px">利益準備金</span> <span style="margin-left: 50px">その他利益剰余金</span> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> + <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> + <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> + <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> 欠損判定額が _____ の場合は欠損あり  欠損比較額 <span style="margin-left: 150px">資本金の額</span> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> = ( <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> × 20% )	
欠損なし 欠損判定額 0 円	（改善が必要）
欠損あり 欠損判定額 _____ 欠損比較額 _____	
欠損あり 欠損判定額 < 欠損比較額	
流動比率（判定 75%以上： _____ 、75%未満： ×）  流動資産 <span style="margin-left: 100px">流動負債</span> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> %	
資本金の額（判定 20,000 千円以上： _____ 、20,000 千円未満： ×）  <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px;"></div> (注)対象となる決算期の財務諸表でこの要件を満たしていない場合、申請日までに増資をすれば可。新設企業の場合は、設立時に 40,000 千円以上にする必要あり。	
純資産合計額（判定 40,000 千円以上： _____ 、40,000 千円未満： ×）  <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px;"></div> (注)対象となる決算期の財務諸表で、この要件を満たす必要あり。決算後の増資等による対応は認められない。	

- ・ 特定建設業者は下請負人の保護等のために特別の義務が課せられており、財産的要件の加重もその 1 つです。
- ・ 特定建設業の許可（業種追加、更新を含む）を受けるには、建設業法第 15 条第 3 号の規定に基づき、審査基準となる決算期（許可申請日の直前の決算期）の財務諸表で、上記の要件をすべて満たしていなければなりません。
- ・ 特定建設業者が許可更新の際にこの要件を満たしていなければ、一般建設業の許可に切り替えなければならなりませんので、決算期ごとの財務内容にご注意ください。